

# とさるふ 資料紹介

＝(85)＝

## 収集資料紹介ノート ―モノに歴史あり―

### (四) 蚕の飼育準備

今回からは、蚕の飼育の道具を中心に紹介していきたいと思えます。

蚕の飼育には、実際の飼育の前にいくつかの準備が必要でした。その過程は、①蚕室や蚕具の掃除・水洗い ②蚕室や蚕具の消毒 ③温湿度や光を調節して蚕の卵をふ化させる「催青」の3つに分かれます。

「②蚕室や蚕具の消毒」については、市指定文化財の高橋余一画『生活絵巻』で詳しく見ることができます(写真)。

それによると、「掃立て」の十日くらい前、蚕室に目棚めだなを組んで蚕具を入れ、共同のポンプ



▲写真 高橋余一画『生活絵巻』より

を使用してホルマリンを室内に注入します。室内には手拭きで覆面をして入るのですが、(強烈な臭いのために)ものの数分も続かずに飛び出してくるのだそうです。消毒を終えると出入り口を目張りして、一週間くらいそのままにしておきました。

今回は、次の方から貴重な資料を寄贈いただきました。ありがとうございました。

(平成十年六月分)

○クドなど六点

(石原甲子夫さん/蜂屋町)

○桑抜き器など三十七点

(丸義商店さん/森山町)

博物館建設のため、現在いろいろな資料を収集しています。

文化課(文化会館内/内線四〇八)まで情報をお寄せください。